

- 1 最近、図書館と他の機関とのパートナーシップはますます重要なものになってきた。読書教育、図書館のアニメーションは、きわめて広い範囲にわたる活動であるが、ここでは、図書館（学校図書館をも含む）と他の機関とのパートナーシップという観点から、具体例をもとにして、この問題にアプローチする（図書館と学校、図書館と医療機関など）。
- 2 図書館におけるアニメーションの簡単な定義。
アニメーションとは何か？
図書館におけるアニメーションとは何か？
- 3 パリ科学図書館のアニメーションの例
 - A 職探しサポート。職業斡旋施設とのパートナーシップ。
 - B 医療・健康サポート。医療団体とのパートナーシップ。
 - C 中・高校生に対する勉強のサポート。理工系大学生の協力。
- 4 子ども図書館（あるいは図書館の子どもセクション）のアニメーション。
公共図書館の蔵書はエンサイクロペディア性（全分野にわたる）を特徴とする。
したがって、アニメーションは、文学、音楽、美術、科学など、あらゆる分野にわたる。
ここでは、その若干例をあげる。
学校と図書館とのパートナーシップ。
- 5 子どもたちを審査員とする文学賞、クロノス賞。
学校と図書館とのパートナーシップ
- 6 メディア（プレス）教育。
フランスでは毎年三月、学校教育の一環として、全国規模でプレス週間がおこなわれている。参加するかどうかは、学校と教師の自由意志に任されているが、参加校はきわめて多数にのぼる。
二〇〇九年度の参加校は一万五千二百六十五校（小・中・高）、参加児童・生徒総数は四百七十八万百二十人、参加教師数は四十三万三千二百十六人。
メディア（新聞雑誌社・テレビ・ラジオ）と、教育省とのパートナーシップで成り立っており、司書教諭が、学校におけるコーディネーター役を果たしている。